

令和7年度 第1回生駒市地域公共交通活性化協議会 分科会  
議事概要

日 時 令和7年6月2日（月）午後2時～午後3時

場 所 生駒市コミュニティセンター203

出 席 者

（委 員）領家副市長（会長）、室崎委員（副会長）、大西委員（代理：松石様）、深田委員（代理：森様）

（事務局）生駒市（猪原総務部参事、大塚防犯交通対策課長、菊池、岡田、城野）、一般社団法人システム科学研究所（加藤、高橋）

欠 席 者 3名

傍 聴 者 3名

議 事

1 開会

2 前回分科会の議事概要確認

3 富雄庄田線の再編ダイヤ案について

4 生駒市地域公共交通利便増進実施計画【高山地区】（案）について

5 閉会

【配布資料】

〔前回分科会の議事概要〕

〔資料1〕 富雄庄田線の再編ダイヤ案について

〔資料2〕 生駒市地域公共交通利便増進実施計画【高山地区】（案）

## 主な議事内容

### 1 開会

○会長から、前回の分科会で生駒市地域公共交通利便増進実施計画の内容は固まったが、具体的なダイヤについては持ち越しとなっていた。本日の分科会では具体的なダイヤを確認し、利便増進実施計画に反映したものをご審議いただきたい。令和6年7月にスタートした利便増進実施計画に関する分科会での審議は今回が最終になる。忌憚のないご意見をいただきたい。との挨拶があった。

### 2 前回分科会の議事概要確認

○前回分科会の議事概要に基づいて事務局から説明した。

### 3 富雄庄田線の再編ダイヤ案について

○資料1に基づいて事務局から説明した。

○会長から、本日欠席された委員には、事前に説明して意見をいただいているのか。最後の分科会になるため、本日欠席された委員にも資料を見ていただき、ご意見をいただいた方がよい。との発言があった。

○委員代理から、分科会などでの皆様からのご意見や市からの希望も聞きながら、可能な範囲で調整したダイヤ案である。すべてを実現できているわけではないが、いただいたご意見の大半は対応できたと思う。それも踏まえてご審議いただきたい。との発言に対して、会長から、要望があった意見は概ね反映していただいたと思う。との発言があった。

### 4 生駒市地域公共交通利便増進実施計画【高山地区】(案)について

○資料2に基づいて事務局から説明した。

○事務局から、本日欠席している奈良運輸支局には、事前に利便増進実施計画案をお目通しいただいている。細かな書きぶりは確認中だが、利便増進実施計画として概ね問題ないとお聞きしている。との発言があった。

○委員から、学研北生駒駅から傍示方面行きの15時台と19時台を調整して追加したという説明だったが、その調整はP.13に記載している再編理由のどれに当てはまるかを教えていただきたい。との発言に対して、事務局から、再編後の15時台の便は再編前の14時56分発であり、少し時間を調整しただけではあるが、再編前は15時台に便がなかったが、再編後は15時台に便がある、という利用者に心理的な安心感を与える狙いである。との発言があり、委員から、どの時間帯にもバスが1本あることは心理的にも大事である。バランスよく運行していることも利便性向上の工夫だと思うので、理由として入っていないのであれば追記した方がよいと思う。との発言に対して、事務局から、15時台については記載が漏れているので、良い表現を検討する。19時台については帰宅時間帯の増便が該当する。との発言があった。

○委員から、鉄道とバスの乗り継ぎが良くなるダイヤ編成にするという説明だったが、バスが着いてから電車が出発するまで、あるいは電車が着いてからバスが出発するまで、どれくらいの時間で計画しているかを教えていただきたい。との発言に対して、委員代理から、

今までも電車とバスの接続が悪いというご意見を伺っていた。電車とバスの本数が合っておらず、バスが1時間に1本しか走っていないので、電車を降りてもバスがないという事態は発生している。今回は接続時間を見直したわけではなく、運行間隔が歪なところを是正した。電車が着いて約5分後にバスが出る形で設定していると認識している。との発言があり、委員から、バスとの乗り継ぎが良い電車があるので、その電車を選んで帰ることができるということによいか。との発言に対して、委員代理から、バスから電車への接続については電車の本数が多いため気にする必要はないが、電車からバスに乗り換える際に、スムーズに乗り換えできるようにダイヤを設定している。また、今までは富雄駅からバスが来ており、富雄駅周辺が渋滞でかなり遅延するため、バスとの乗り継ぎが良い電車に乗ってもバスが来るまでお待ちいただいている可能性はあったと思う。今回の再編では、学研北生駒駅で系統を切っているので、今までよりは運行がある程度スムーズになり、待ち時間が解消されるのではないかと考えている。との発言があった。

○委員代理から、獅子ヶ丘の住民、学生のために、平日の朝夕に獅子ヶ丘まで運行するという説明だったが、通勤についてはどうやって通っているかを教えていただきたい。との発言に対して、事務局から、獅子ヶ丘から最寄りバス停である傍示(南)まで抜け道があり、傍示(南)からバスを利用されていると聞いている。その道が暗かったり、市道でなく整備されていなかったりするので、子どもが歩くには危険だと聞いており、今回の再編では通学時に獅子ヶ丘までの運行を設定して改善した。との発言があった。

○委員から、前回の分科会では、計画期間の5年間で終わった後は、より利便を目指して計画を出し続けなければならないという話があったと思う。今回の計画でいろいろと工夫して大変使いやすくなり、バスが残っていくことはとても良いと思っているが、5年後に改善できる余地はまだあるのか。それができないと存続が危ぶまれるのではないかと考えているが、どのように考えているかを教えていただきたい。との発言に対して、事務局から、今回の再編では、地域の方の声を反映し、奈良交通にも頑張ってもらったと思っており、地域の方や観光の利用者が増えることを期待している。利用が増えなければ、5年後に続けていくことが難しくなる面も出てくると思う。この計画を作ることで利用促進の取り組みへの補助が出るので、それも活用しながら、まずは5年間で利用を増やすことに取り組みたいと思っている。また、5年後になると、他の路線の状況も変わってくる。今はいろいろな制約があり、獅子ヶ丘までは平日2往復しか運行できないが、状況が変わればもう1往復行けるようになるなど、その時の状況次第で変わってくると思う。富雄庄田線以外の路線で利便増進実施計画を策定する可能性もあるので、この5年間で時間をかけて検討したい。との発言があり、委員から、今回の再編でバスの利用が増えることで次の展開があるかもしれないので、まずは皆さんが乗っていくことを頑張っていくということだと理解した。との発言があり、会長から、今後、計画をHPなどで公表する際に、尚書きとしてそういった話をあわせて記載してはどうか。計画にはそこまで書いてなくても、この5年間で皆さんにしっかりと乗っていただき、それ以降についても公共交通の維持・存続に向けて必要な改善はしていくといった内容を尚書きで記載しておけばよい。前回の分科会でも話があったが、計画には今回の措置だけを書いており、住民自身に関心を持ってほしいといった内容が出てこないで、そういった趣旨もあわせて公表するようにすればよいと

思う。との発言に対して、事務局から、前回の分科会では、奈良運輸支局から、5年後の内容について記載する必要はないが、記載することを否定するものではないとの発言があった。P.2の表1-1に、5年後以降に点線の矢印を入れており、控えめではあるが、今後も継続していく気持ちがあることを示している。との発言があり、会長から、公表する際には、そういったメッセージを書いておいた方がよいと思う。との発言があった。

## 5 閉会

以上